

みらいトピックス



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤を作ろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられる町づくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

地域の活動が、SDGs につながっています。

「ときわにんにく」植え付け



9月上旬から令和6年産にんにくの植え付け作業が各地区で始まりました。同年産にんにくは、ときわにんにく部会の部会員96人が約60畝で作付け予定です。

9月20日、約60畝で栽培する長内金樹さんの圃場では、幅120センチほどの畝を作った上に消毒したにんにく種子を植え付けました。作業員は「怪我のないよう安全に作業を進めていき、昨年以上に品質の良いにんにくを収穫できることを期待している」と話しました。



にんにくの種子を植え付ける作業員



熟度を調査する営農指導員

晩生種りんご熟度調査



10月2日、晩生種りんごの収穫前の熟度調査を本店で行いました。熟度調査の結果は、各品種の収穫時期の目安とし、りんごセンターへ入庫する期日を設定します。

りんごを担当している各地区の営農指導員ら6人が晩生種の「サンふじ」「有袋ふじ」「王林」のサンプルを持ち寄り、果実の硬さや糖度、りんごの断面にヨウ素液を塗り、ヨード反応を確認しました。

